

ふれあいの輪、さらに広がります

# ほのか

HONOKA

# 7

2022

No.634

JAあまらめ



特集① 生協共立社との生き物調査・除草作業

特集② 3年ぶりに組合員参加の総会を開催 余目町農協第55回通常総会



## 野菜ソムリエ上級プロ KAORUのフルーツパラダイス

イラスト：小林裕美子

### ブドウ

～ポリフェノールの宝庫～

#### ブドウのプロフィール

【分類】ブドウ科ブドウ属  
【原産地】中近東  
【おいしい時期(旬)】6～10月ころ(夏秋)  
【主な栄養成分】カリウム、ブドウ糖、果糖、アントシアニン、レスベラトロールなど

#### 選び方

実がふっくらとしていてみずみずしい

色が濃くても問題ないよ

実が隙間なく均等に付いている

果皮に張りがある

軸が太く、きれいな緑色

果皮にプルム(白い粉)がしっかりと付いている

NG  
軸が茶色く枯れている軸を持って揺ると実が落ちる……

緑系  
鮮やかな濃緑色より、黄みがかった方が熟していて、酸味が少なく甘い

赤系 黒系  
熟すと濃い色に黒紫色や濃紅色のものが甘く濃厚な味わい

#### 保存方法

できるだけ早めに食べてね

#### 常温保存

鮮度が良ければ4、5日ほど日持ちする

実を1粒ずつに分けると長持ち!

#### 冷蔵保存

冷蔵保存  
プルムは洗い流さず保存  
水分の蒸発を防ぎ鮮度を保つておくと食べる直前にさっと水洗いすればOK

要注意  
冷やし過ぎると甘味を感じにくい……

冷凍保存  
水分の蒸発が抑えられ、鮮度劣化を防ぐことができるよ

#### ブドウのいろいろ

世界には1万種以上の品種があり、ワイン用の品種も多い日本では約20種類ほどが高華用として栽培

赤系



「甲斐路」「安芸クイン」など

黒系



「巨峰」「ピオーネ」など

緑(白)系



「マスカット・オブ・アレキサンドリア」「ロザリオピッコ」など

#### ブドウの子カラ



かゆみ  
高血圧予防、むくみ改善に



ブドウ糖、果糖  
暑い時期の疲労回復や夏バテ予防、集中力を高める効果も

#### レスベラトロール

ポリフェノールの一種の発がん抑制作用、食物アレルギーの発症を抑える効果も

#### アントシアニン

ポリフェノールの一種の老化や生活習慣病の予防、目の疲労・病気の予防に

#### 楽しみ方・食べ方のコツ



凍った状態で水に漬けると、皮がツルツルっと簡単にむけて便利



甘い  
軸側が先端よりも糖度が高め(品種による)

#### デザート

シャーベット、タルト、ケーキ、ムース、ゼリーなど



最後まで強い甘味を楽しみたい場合は、先端から食べてね

#### 料理

フルーツサラザ、白あえなど



#### ブドウのヒミツ

和名 葡萄  
英名 Grape  
仏名 Raisin

歴史  
中近東  
古代エジプトの壁画にワイン製造の様子が!



#### 日本

山ブドウが自生  
奈良時代 シルクロードを経て中国から伝来  
明治時代 本格的な栽培が始まる



昔ながらの手押し除草機を使って  
令和4年度 生協共立社との  
生き物調査・除草作業



▲みんなで一緒に田んぼの除草作業

6月11日、JAあまらめと生協共立社で開催している米づくり体験交流会で田んぼの生き物調査と除草作業が行われました。5家族13人の親子が参加し、生産指導係からの作業説明の後、田んぼの生き物調査が始まりました。泥まみれになりながらおたまじゃくしややごなどを捕まえて、田んぼの中



▲圃場提供者の齋藤大樹さん(常万)よりバケツ苗のアドバイスを頂きました。



▲カントリーの屋上からシャボン玉

生き物に興味津々でした。除草作業は昔ながらの手押し除草機を使って行い、自分の力で押す子供や兄妹で力を合わせて押す子供たちもいました。最初はぬかるんで動きにくそうでしたが、慣れてくるとスムーズに除草作業ができて夢中になっている様子でした。

除草作業と田んぼの生き物調査終了後、普段は登れない当農協のカントリーの屋上にてシャボン玉を飛ばし、充実した1日を締めくくりました。交流会では今後追肥作業と稲刈りを予定しています。

青年部特集

青年部で毎年恒例の  
立て看板を作成



▲6月12日から6月14日まで立て看板作成に励みました。

令和4年産米に向けて  
JAあまらめ青年部で生育調査

JAあまらめ青年部では6月から7月末まで、10日毎定期的に生育調査を行っています。6月2日の生育調査では、活着が良かったことから分けつも確認でき、平年並みから平年以上の生育となっております。しかし、6月13日の調査では、低温・日照不足の影響で茎数が平年より少なく、葉色も薄い状態となっていました。茎数不足の圃場は、浅水管理を行うなど茎数確保に努めていき、これからは青年部員で注意深く観察していきます。



▲草丈、茎数、葉齢、葉色を調査しました。



▲鳥海山をバックに生育調査を行いました。(榎木)

ほのか 目次

生協共立社との生き物調査除草作業	2	チャレンジ家庭菜園	7
今月の表紙 えがお	2	理事会だより	7
青年部特集	3	ほのかほいす/6月号当選者正解	8
第55回通常総会	4	シエフ永井のおすすめ	8
役員退任のあいさつ	5	ニュース&ニュース	9
フォト&トピックス	6	フルーツパラダイス	10

😊 お子さんの「えがお」、家族みんなの「えがお」を紹介します。



# 3年ぶりに組合員参加の総会を開催 余目町農協第55回通常総会

## 新組合長に佐藤一彦氏(跡)・新副組合長に阿部勝吉氏(廿六木)・新代表監事に柿崎寿一氏(千河原)が就任



▲総会開催にあたり挨拶する森屋要二前組合長

6月12日、第55回通常総会が響ホールにて開催され、令和3年度事業報告、剰余金処分案、令和4年度事業計画、役員選任など全7議案が原案通り承認されました。出席状況は正組合員数964人の内、実出席513人、書面議決224人、委任状出席が38人で実出席率は53.2%でした。

総会に先立ち、当農協の表彰要領により赤かぶ部会部会長を10期20年務めていただいた工藤豊雄さん(長畑)、同じく赤かぶ部会副部会長を10期20年務めていただいた齋藤孝さん(常万)と副組合長2期6年、代表監事1期3年、理事4期12年合わせて21年間務めていただいた佐藤多佳夫さん(館)へ表彰状、長年農協職員としてご尽力いただいた高橋恵前企画管理部長代理へ感謝状の授与が行われました。開会にあたり森屋要二前組合長は「組合員の皆様には、コロナ禍の中感染予防をしながら本総会にご参加いただき、心より感謝申し上げます。食料・農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しており、農業従事者の高齢化や後継者不足の生産基盤の弱体化等、問題や課題が山積している状況であります。また、新型コロナウィルス感染症の影響により、組合員との対話の場と予定していた生産組合の幹部研修や夏まつり等は中止せざるを得ませんでした。しかし、まん延防止等重点措置解除後の下期農協座談会は2年ぶりに開催することができました。出された意見を大事に農協事業に活かしていきます。困難な今の時期、JAとしての底力が問われます。持続可能な農業と地域づくりの実現に向けてともに取り組んでまいりたいと思います。」とあいさつしました。

議長団に選出された遠田隆さん(提興屋)・阿部一弥さん(長畑)が選出され、慎重審議を経て全7議案が承認されました。また、第6号議案「役員選任に関する件」について新組合長互選の理事会と新代表監事互選の監事会が行われ、新組合長に佐藤一彦氏(跡)・新副組合長に阿部勝吉氏(廿六木)・新代表監事に柿崎寿一氏(千河原)が就任されました。

総会に出された質問・意見は以下のとおりです。  
Q 生産農家が年々減少していますが、農協ではどのような対策を考えていますか。若い人に水田が委託される現状で、今後、耕作面積を増やすのは難しいと思います。  
A 後継者や担い手の皆さんに農地集約は進んできていますが面積が大きい分、点在して仕事が行きにくいのが現状です。今後は農地を交換することで作業効率をあげられるよう支援していきます。国の補助事業もあるので、農協としても達成できるよう最大限の手助けをしていきたいと思います。



▲左から森屋前組合長、工藤豊雄さん、齋藤孝さん、佐藤多佳夫さん



▲左から森屋前組合長、高橋恵さん

Q 県下での農協合併についての動きや農協として検討してきた中身について教えてください。  
A 令和元年7月に合併あり方検討会を山形県として立ち上げ、山形県についても将来的には1JAを目指す、ただし当面は4JAに統合しようという話し合いで終わりました。庄内ではここ3年間合併の話合いはありませんが、合併をする際は、合併をする目的を明確にし、組合員にしっかりと情報を伝えていこうと思います。  
Q 職員の健康管理、精神的な相談、職員教育についてどのような考えですか。若年層の離職者も出しております。近年はジェンダーの問題にも配慮が必要だと思っております。どのような対策をお考えでしょうか。  
A 産業医と契約しており安全衛生委員会を月1回開催し、指導を受けております。また、ストレスチェックを実施し数値上問題があった場合は、産業医との面談をしております。ジェンダーにつきましては、ハラスメント委員として男性1人・女性1人を配置して、窓口を設けて相談できる環境を整えております。若年層の離職については、それぞれの事情があるかと思っておりますのでご理解をお願いします。



▲質問を行う青年部委員長阿部勝裕さん(廿六木)

## 役員退任のあいさつ



森屋要二前組合長

「石ころでさえ磨けばそれなりに光る」この言葉と出会って24年間、農協役員として本当に有意義な時間を過ごさせていただいたと思っています。24年前の役員就任時、米の概算金は、16,600円と安定期であったものの、組合長就任時の15年前は、概算金は12,000円、その後、10,000円、8,500円と厳しい手取りで推移いたしました。就任中は、多くの法律改正、運用があり、大規模化・安価な農産物生産、生産者が主体的にコメの需給調整をする等、大きく農政も後退し、加えて、農協改革も行われ、土俵の俵で踏みとどまったことなど印象に残っています。平成22年度農業従事者は全国で205万人、今は、136万人と激減。コメ政策、農協改革、規制改革、法律改正どれを見ても、日本の「食」を誰が担うのかを考えた場合、遠回したようにも感じます。

今は不確実性時代、明日もわからない時代に入ります。コロナ、ウクライナ情勢、国連は機能不全、輸入品すべてが値上げとなりお金を出せばなんでも安い輸入品に手が出ましたが、買い負けする世の中になり、今後、国の重要課題として考えるべきだと思います。

組合長15年で、過払い、暴風被害、大雪被害、東日本大震災、公正取引委員会、米価下落、コロナ、組合員にどのような元気を与えられるか常に考えました。農業は「新自由主義的」な考えでは維持できないことに気づかなければならないと思います。

常万・余目町農協合併50周年を在任中迎えたことで、記念誌、記念行事、式典、並びに天皇陛下への献納も果たすことが出来、充実した時間を過ごすことができました。小さくとも余目町農協の存在価値をさらに高めるよう、私も一組合員として応援して参りたいと考えています。

結びに、余目町農協の役員として、24年間、協同組合とは、を常に問いながら、全力で仕事できたことに、改めて組合員の皆さんに御礼申し上げたい。よき先輩、よき同僚、よき職員に恵まれ、精一杯職務に励むことが出来ました。余目町農協の限りない発展を祈念し、退任の挨拶といたします。長い間、本当にありがとうございました。



佐藤多佳夫前代表監事

この度第55回通常総会をもって退任することになりました。平成13年6月より21年間、理事として6期18年、監事として1期3年、組合員の皆様や、役員、職員のご理解やご協力をいただき務めることができました。感謝申し上げます。

米の過払い問題や、庄内5農協の手数料問題で、公正取引委員会が入ったことなどいろいろなことが思い出されます。

昨今の農業を取り巻く環境は、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻、円安等米の消費減退による価格の低迷、飼料・肥料・燃料の高騰等、大変な時代をむかえています。新役員体制になっても、組合員の皆様と役員、職員が一つになって難題を解決していくことをお願いします。組合員の皆様には、これから我々の農協として「余目町農協」を支えていくことをお願いし、役員、職員の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。



▲来賓挨拶で祝辞を述べる庄内町町長富樫透様

庄内町の花きを全国に

山形県花き研究会産地訪問

6月14日、山形県花き研究会と全農山形県本部がトルコギキョウに関する産地訪問で、工藤豊章さん(長畑)の圃場を視察しました。  
当日は、トルコギキョウの生産に関する現状と課題を中心に意見交換が行われました。市場担当者からは「市場販売情勢の見通しとして、各経費等が値上がりしており生産量を増加させるという事は難しいと思う。しかし、コロナ禍の緩和により業務需要を中心に販売も回復している。」との今後の情勢の説明がありました。



▲6月からトルコギキョウの出荷が始まります。  
▲工藤 豊章さん(長畑)のハウスで視察が行われました。

准組合員へ事業説明会を開催

6月16日、准組合員を対象とした事業説明会を開催し、11人の参加がありました。  
令和2年度・令和3年度と新型コロナウイルスの影響により中止しておりましたが、今年度は3年ぶりの開催となりました。  
佐藤組合長挨拶の後、企画管理部より前年度事業状況、今年度事業計画と新役員体制を説明しました。



▲准組合員に向けて挨拶する佐藤一彦組合長

農畜連携の継続を

第23回あぐりん利用組合総代会を開催

6月23日、当農協の生活センターにて第23回あぐりん利用組合総代会が行われました。総代会では前年度事業報告、収支決算、今年度活動方針、収支予算など全6議案が原案通り承認されました。昨年12月末に製品庫屋根の降雪被害があり、製品庫屋根修理及びオーバースライダ修理を行ったことも報告されました。



▲総代会開催にあたり挨拶する村上廣喜組合長(御殿町)

水稻、大豆の現状と肥料価格高騰に備え

農協役員、営農・防除委員、ブランド米合同会議

6月21日、農協生活センターホールで農協役員、営農・防除委員、JAあまらめブランド米振興会委員合同会議が開催され、これまでの水稻、大豆の生育状況、8月に予定している無人ヘリ防除の確認、人・農地プランなどについて協議しました。  
佐藤一彦組合長は「肥料価格高騰など大きな懸念もあるが、コロナ禍も落ち着いてきたところでブランド米の販促活動にも力を入れていきたい。」と今後の活動方針を示しました。



▲水稻、大豆の生育状況と今後の米づくりに関して協議しました。

今年度からは集落単位での作業

大豆播種無事終了

5月23日から6月15日頃にかけて令和4年産大豆播種が行われました。今年度からは集落単位での大豆播種作業となりました。  
今年の管内の大豆作付面積は約158畝です。6月20日頃の生育状況としては、平年並みとなっており、大豆栽培は雑草が多いほど生育が不良になります。除草剤の散布や中耕作業をし、雑草の取り除き作業を進めよう。



▲今年天候不良が続く、やっとの思いで播種作業をスタートしました。(余目新田)

適正な税務申告に向けて 青色申告会中間監査



▲6月16日、当農協生活センターにて青色申告会の中間監査を行いました。

女性部で大人気のヨガ教室を開催

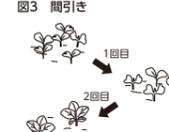
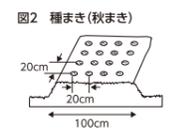


▲5月31日、JAあまらめ女性部でヨガ教室を行いました。



タアサイ 霜に当たるとおいしさが増す

タアサイはツケナの仲間で、中国語で「場菜」と書きます。「場」は「つぶれる」という意味です。葉は平たく杯状に広がっており、さじ状で縮れがあり、日本の野菜では「キサラギナ」に似ています。チンゲンサイと共に、代表的な中国野菜です。  
【品種】品種分化が少なく「緑彩二号」(サカタのタネ)、「タアサイ」(タキイ種苗など)として販売があります。  
【畑の準備】種まきの2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gをまき、酸度を矯正しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分10%)100gを施し、土とよく混ぜておきます(図1)。次に、幅1m、高さ5cm程度の栽培床を作ります。  
【種まき】春まきでは条間15cm、株間15cm、秋まきで大株にするには条間20cm、株間20cmに1カ所5、6粒の点まきをします(図2)。発芽まで土が乾かない程度に灌水(かんすい)し、発芽後は土が乾いたらたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。



種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護します。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。  
【間引き】1回目は発芽後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚の頃に1本にします(図3)。  
【追肥】大株に育てるには、最後の間引きの半月後に化成肥料を畝間にばらまき、軽く土寄せします(図4)。  
【病虫害防除】アブラムシやアオムシ、ヨトウムシなどが発生します。アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはトアロー水和剤CTなどを使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取ります。  
【収穫】春まきでは株が立性になり、草丈25cmくらい、秋まきでは、葉は大きく広がり開張性になり、上から見て直径20cmくらいから収穫を始めます(図5)。寒い時期になるとおいしさが増してきます。収穫後は広がっている葉を内側につぼめてひもで縛ると扱いやすくなります。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。園芸研究家●成松次郎

理事会だより

第55事業年度(令和3年度)の業務報告書について

農協法第54条の規定による、行政庁への報告について、定款第53条の規定に基づき、理事会にて承認されました。

《報告事項》

- (1) 組合員の加入脱退について
- (2) 各種委員会の報告事項について
- (3) 介護予防事業報告について
- (4) 出張報告書について
- (5) 第55回 通常総会出席状況について
- (6) 法人税の状況について
- (7) 令和4年産米予約状況について
- (8) 内部監査報告書について



5月末の実績

		実績	計画比	前年比
正 組 合 員		961 名		99%
販 取 売 品 高	農産物	133,671千円	87.4%	70%
	畜産物	54,995千円	88.3%	109%
	計	188,666千円	87.6%	79%
購 取 買 品 高	農 産	125,272千円	111.1%	103%
	畜 産	8,768千円	108.5%	110%
	店 舗	121,378千円	105.1%	104%
	農機自然	74,516千円	86.2%	65%
	計	329,934千円	102.2%	91%
加 工 事 業		53,761千円	110.2%	115%
貯 金 高		11,345,368千円	98.1%	104%
貸 出 金		2,660,167千円	102.5%	104%
長 期 共 済(保障)		342,200千円	85.6%	82%

## JAあまるめSNS開設しました

JAあまるめ・生活館でSNSを開設しました。営農情報や農協の行事・生活館についてお得な情報を随時発信していきますので、お気軽にフォローをお願いします！

	JAあまるめ	JAあまるめ 生活館 (Aコープあまるめ)
Instagram 		
Twitter 		
Facebook 		

### 庄内町夏のフラワーショー開催!



庄内町の花き生産者の皆さんが心を込めて育てた花の品評会です。トルコギキョウを中心とした季節の花が勢ぞろいします。ぜひお越しください。

#### ＜花の展示＞

●日時/7月21日(木)午後1時30分～  
23日(土)午前11時00分

●場所/庄内町文化創造館 響ホール

#### ＜販売＞

展示した花をお買い得価格で販売します。購入希望の方は、事前に抽選をお願いします。なお、抽選方法が変更となりましたので、ご注意ください(詳しくは町ホームページをご覧ください)。

●抽選受付/7月21日(木)午後1時30分～  
23日(土)午前11時00分

●購入受付/7月23日(土)午後1時00分～3時00分

■問合せ/庄内町花き振興会事務局(庄内町農林課農産係)  
☎0234-42-0178

### 営農販売部からのお知らせ

令和4年の水田の草刈り休止期間は

**8月1日～8月26日**です。

水田での防除効果をも高めるためにも  
近隣の皆様からご協力をお願いいたします。

### 農協からのお知らせ

令和4年度も下記の事業については中止とさせていただきます。新型コロナウイルス感染予防のため、ご理解くださいますようお願いいたします。

◎JA夏まつり ◎生産組合幹部研修(湯の浜)

※8月に生産者研修会を農協で開催する予定です。

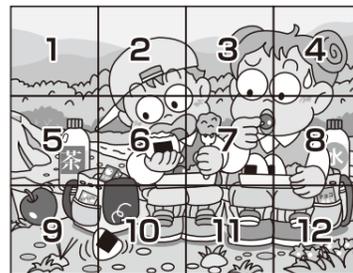
JAあまるめホームページ <http://www.ja-amarume.or.jp>

JAあまるめ 広報ほのか ●編集と発行/余目町農業協同組合 ●編集責任者/渡会 武司 ●印刷/JA印刷山形 令和4年7月

## まちがいさがし

### 6月号当選者・正解

樋渡 真樹さん(御殿町) 抽選の結果10名の方が当選されました。  
清川あいりさん(下朝丸) たくさんのお応募ありがとうございます。  
足達 瑛心さん(下朝丸)  
太田たま子さん(廿六木)  
遠田 春子さん(提興屋)  
日下部きよ子さん(横 島)  
日下部みきさん(横 島)  
今井 美羽さん( 跡 )  
佐藤 朔さん(余目新田)  
阿部 隆子さん(福 原)



#### 答え

- 1… 森の大きさが違う
- 3… 盾の形が違う
- 6… おにぎりがかじられている
- 9… リンゴの向きが違う
- 12… 咲いている花が多い

●クイズに答えて賞品をゲットしよう!!  
たくさんのお応募おまちしております。  
(応募箱はAコープあまるめ入口脇に設置されてます)

## 身近な話題や「ほのか」の感想をお寄せいただきました。



◎6月12日のJAあまるめ生活館通常総会記念セール大盛況で良かったですね。組合員や町民のために頑張ってもらいたいです。(77歳 女性)

ご来店ありがとうございます。コロナ禍ではありますが、3年ぶりに響ホールで通常総会が開催できて大変嬉しく思います。これからも、当農協事業コロナには負けずに様々な行事やセール等開催していきたいと思ひます。ぜひご利用ください!

◎今年のが家のきゅうりはなんだか曲がりが多いようです。きゅうりが育っている時に、強風が続いたのが原因だったと思います。(70歳 女性)

やはり風の影響も原因の一つのようです。品種によっても形や特徴が変わるみたいなので来年度は変えてもいいですね。また、水やりや肥料なども多すぎたり少なすぎたりすると曲がったりするので適度な量を心掛けていきましょう。



### 豆苗のサラダ

#### ●材料(4人分)

- 豆苗 ……………2パック(500g)
- だし昆布 ……………1枚
- ミモレット ……………30g
- オリーブ油  
(エクストラバージン)…大さじ2
- スタチ ……………1個
- 塩 ……………適宜

#### ●作り方

- (1) 豆苗は根元から切り落とし、種を取り除いておく。葉(苗)の部分はだし昆布を入れた保存容器に並べておく。
- (2) 種を鍋に入れ水から15分ほどゆで、(1)の葉(苗)が浸るほどの湯量を保って(1)の保存容器にゆで汁ごと注ぎ、塩を一つまみ入れ落としふたをして、そのまま冷ます。
- (3) 冷やした(2)の豆苗の漬け汁をサッと切り、種と一緒に器に盛り付け、スタチ、オリーブ油(エクストラバージン)、すりおろしたミモレットを上から回しかけ出来上がり。



シェフ永井の  
おすすめ

永井 徹  
(JAあまるめ生活館  
余目町農林課農産係  
アドバイザー)

